

効果的な土壌消毒の方法と注意点

令和4年3月

J A全農ちば 営農支援部

1. 土壌消毒と地温

効果的に土壌消毒をするために、地温が適正になってから消毒を開始しましょう。7℃以下では、十分な効果が期待できません。植え付け時期と地温を考えながら、土壌消毒を開始しましょう。

表1 地温と土壌消毒期間の目安

平均地温	期間
25～30℃	約10日
15～25℃	10～15日
10～15℃	15～20日
7～10℃	20～30日

2. 土壌水分の目安

土壌水分の目安は、土を手で握って割れ目ができるくらいです。

握った土がしっかりと固まる場合は、水分過多で、固まりができない場合は水分不足です。右の写真を目安にしてください。



3. 被覆資材について

ポリエチレン等の被覆資材は、効果を高めるためにも、0.03mm以上のものを使用しましょう。

表2 ポリエチレンシートの厚さと透過速度

厚さ (mm)	透過速度 (g/m ² 、時間)	
	20℃	30℃
0.02	66	128
0.03	46	77
0.05	21	42

0.05mmの透過速度は0.02mmの1/3になることに注目してください。

気温20℃以下であれば、シートの厚さが0.02mmのものでも十分被覆効果がありますが、気温が20℃以上の場合は0.03mm以上の厚さのシートを使用してください。関東以西の春季の3月中下旬～4月上旬に使用する場合、気温の年較差が大きく、年によっては20℃以上となる場合があります。

(注：表1、2についてはクロルピクリン工業会資料より)

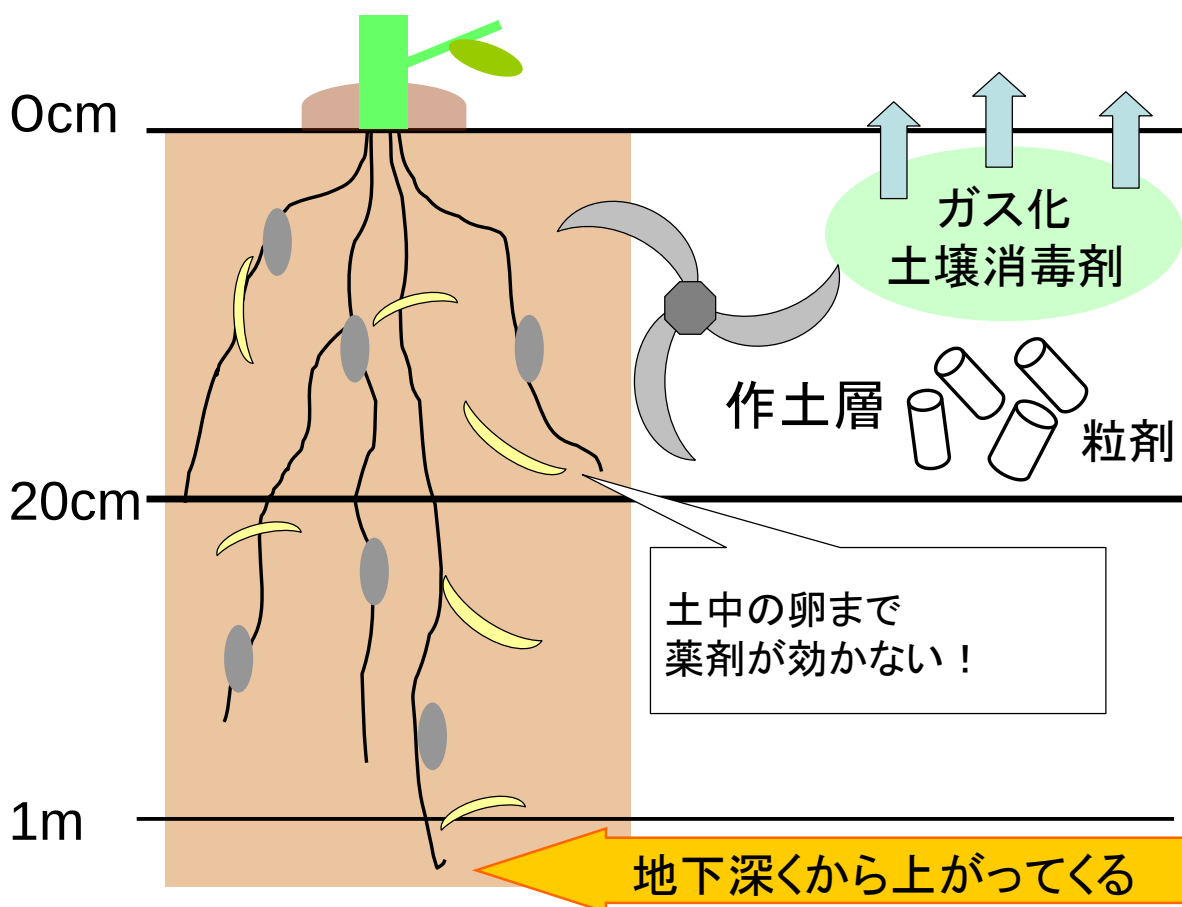
4. ガス抜き

ガスによる害を防ぐためにも、ガス抜きは丁寧に行いましょう。ただし、ガス抜きは土壌消毒剤が到達した部分（20～25cmの深さ）までにしましょう。

5. 殺センチュウ粒剤使用時の留意点

センチュウ被害の多い圃場では、ガス剤を処理しただけでは、効果が不十分な場合があります。このような圃場では、粒剤を併用して、防除効果を高めましょう。

●土壌中のセンチュウ分布と土壌消毒剤・殺センチュウ剤



※ 農薬使用時の注意点

- (1) 農薬を使用するときには、必ずラベルを再確認してください。
- (2) 農薬の残留基準値超過が頻発しています。ラベルに書かれている使用量や使用時期、使用方法等は必ず守りましょう。